

全日本選手権・MFJカップJP250参加者各位

(一財) 日本モーターサイクリススポーツ協会

MFJ 全日本ロードレース選手権・MFJカップ選手権
における新型コロナウイルス感染症防止対策への協力について

平素は、MFJ 事業活動に対し、並々ならぬご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。MFJ では、政府の感染防止に取り組む強い姿勢表明を重く受け止め、国の改正基本的対処方針・専門家会議提言・日本スポーツ協会発行の「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」等を参考とし、2020 年5 月29 日付『新型コロナウイルス感染防止に関わるお願い』を当協会より発信致しました。

これを基に、感染防止の一環として全日本選手権・MFJカップ・地方選手権の運営につき、以下の対応を取り組んでいきますのでご理解とご協力の程お願いします。

1. 感染症防止に関する競技会参加時の遵守事項【ガイドライン】

選手、チーム関係者はMFJの定める「感染症防止に関する競技会参加時の遵守事項」並びに大会ごとに主催者が定める遵守事項を熟読のうえ、大会に参加してください。

この遵守事項を守れない参加者・関係者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、チーム員を含め、競技の参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを了承のうえ参加ください。

- ・大会ごとの遵守事項は主催者ホームページおよびARTホームページからご確認できます。
- ・MFJの「感染症防止に関する競技会参加時の遵守事項」は、「参加者・関係者向け遵守事項（ロードレース）」のファイル名にて掲載されています。

http://www.mfj.or.jp/user/contents/shinseisyo/pdf/2020/rr_item-to-comply0717.pdf#zoom=75

2. 「競技会参加に関する感染症防止申告書」の提出

すべての参加者（選手およびチーム関係者）は、健康状態を確認する為、大会期間（金・土・日）中「競技会参加に関する感染防止申告書」に必要事項をご記入の上、大会主催者が定める方法にてチーム単位にて提出してください。

※ 「競技会参加に関する感染防止申告書」のフォームは、大会ごとに異なります。各主催者、またはARTのホームページから入手してください。

※ 大会期間中に提出された申告書は、主催者が一定期間保管の上、廃棄されます。

※ 体温が、37.5℃以上の方、その他、体調のすぐれない方は、事前に参加を辞退

して下さい。なお、大会期間中にチーム内で発熱または体調のすぐれない方が発生した場合は、濃厚接触者としてチーム全体でそれ以降の競技会参加をお断りする場合もあるのでご注意ください。

3. 検温体制

入場ゲートまたは関係者入場ゲートにおいて、参加者、関係者などの体温測定が実施されます。その際に、体温が37.5℃以上の方や体調のすぐれない方は、会場内への入場できません。あわせて同一チームおよび関係者を含めて濃厚接触者として判断された場合は、それ以降の競技参加および会場への入場をお断りします。

4. 感染症防止対策担当者の選任

全日本選手権の年間エントリーチームは、チーム員の中から感染症防止対策者を1名から選任し、担当者は以下の感染症防止業務を遂行していただきます。

- ① チーム員のマスク着用指導
- ② チーム内のアルコール消毒液等の配置と管理
- ③ 大会期間中の「競技会参加に関する感染防止申告書」提出と管理
- ④ 「感染症防止に関する競技会参加時の遵守事項」の遂行と管理
特に、パドック、ピットにおける三密の回避 会場内外における遵守事項に沿った行動
- ⑤ 食事や宿泊施設等における感染対策の管理

5. 公式通知／公式リザルトの発行

接触機会を減らす為、公式通知やリザルトは最低一カ所の掲示板への掲出の他は原則的にオンライン方式によって公示し、コピーの配布は行いません。

大会によってQRコード等の読み込みで配信する方法や専用WEBページへの掲載など方法がありますので、大会ごとにご確認するとともに、WEB環境を準備してください。

- ・印刷物が必要な場合は、個々でプリンターを用意し印刷を行ってください。

6. 車検 装備品および音量測定・重量測定に関する簡素化検査について

・装備

車検を短時間で行う為、装備品（ヘルメット・レーシングウエア、エアバック式プロテクション、脊柱プロテクション、チェストガード、グローブ、ブーツ）については、国内競技規則書の装備に係わる規定に適合していることを誓約する書類を参加者から提出いただくことで持ち込み検査を省略します。誓約書は各大会の参加受理書同封または大会HPからのダウンロード等で入手してください。

ただし、ランダムチェックまたはレース終了時の検査において違反が立証された場合は、罰則の対象となります。

・音量測定と重量測定の任意測定計測

音量測定値および車両重量（GP3・JP250クラス車両＋完全装備のライダー重量）が国内競技規則に定められている各クラスの各規定に適合していることを条件に検査を簡略することができる。

ただし、ランダムチェックまたはレース終了時の検査において違反が立証された場合は、罰則の対象となります。

7. ブリーフィングの運営

ブリーフィングは、ブリーフィングルームにて選手を招集して行う場合は、三密環境を緩和するため、換気の良い条件のもと少人数制、短時間で行います。また、オンライン形式でブリーフィングを行う場合もあります。

8. パドック・ピットの三密緩和対策

パドック内の人員制限を行います。

競技会には、チームメンバー、レーシングサービス等社を含め、最小人員で参加ください。

ピット内では、他チームのピットへの往来やピット内でのメンバー間のソーシャルディスタンスの確保など対策を行ってください。

9. ピットウォークの運営について

ピットウォークは人員を制限して開催を予定しています。

ただし、大会時の状況等により、実施しない場合もあります。

●開催時には、以下の対策を予定しています。

- ①ピットウォーク参加数限定。参加者は、感染症防止対策（マスク、シールド着用等）
- ②エントラント（ライダー、スタッフ、キャンギャル）と観客のソーシャルディスタンスを確保
- ③選手サイン会、選手との写真撮影など対面で近接するイベントを行わない。
- ④チラシ、ステッカー、販促品等の手渡し配布や固定配布場所の受け取りなど禁止

●チーム・関係者の対応

- ①ライダー、スタッフ、キャンギャルの感染予防対策（マスク、シールド着用）
- ②チーム・関係者の観客側のピットウォーク参加および観客側エリアへの立ち入りは認められません。

※各大会の事務局の指示に従ってご協力をお願い致します。

10. スタートニンググリッド

スタートニンググリッドには、グリッドに立ち入りの資格を有するパスの所持者のみ立ち入ることができる。

また、ライダーを除く全員がマスク、シールド着用等による感染症防止対策を施していなければならない。

【立ち入りが許可される者】

- ① ライダーとそのクルー 5名以内（入場を許可されたバスを有するもの）
- ② サービス関連（レーシングサービスなど）
- ③ チームキャンペーンガール
- ④ 競技運営者（オフィシャル）

1 1. 暫定表彰式

- ・暫定表彰式は、表彰対象者（1位～3位）とチーム監督、プレゼンター、レースクイーンのみ登壇とする。登壇者はすべてマスク、シールドの感染症予防対策が施されていないといけない。
- ・表彰台の前および周りには、チームスタッフ・レーシングサービス等の関係者、観客は立ち入ることはできない。
- ・表彰台で着用するマスクには、広告などの表示は認められない。

1 2. 全日本選手権 賞金額の変更

参加者、関係者への感染症防止対策費用に資するため 2020 全日本選手権賞金総額から 10%（約70万円）を削減させていただきます。

賞金の内容については、各大会の公式通知において公示されます。

1 3. 全日本選手権オートポリス大会の大会期間中のスケジュールについて

感染防止対策の一環として大会スタッフ等の宿泊環境を考慮し、以下のスケジュール変更を行う。

- ① 公式スケジュールは土曜日午後から開始する 1.5 日制の短縮スケジュール。
- ② 土曜日午前中にスポーツ走行を設定。
- ③ MFJ カップ JP 250 の予選・決勝を日曜日に変更

スケジュール

9月18日（金）ART 走行

9月19日（土）午前 スポーツ走行 午後 全日本クラスの予選と JSB1000 決勝

9月20日（日）JP250 予選、決勝 J-GP3・ST600・ST1000・JSB1000 レース2・JP250

1 4. MFJ グランプリの参加資格の変更について

MFJGP の日程変更および会場に伴い参加資格を以下とする。（赤字部分変更または追加）

□ JSB1000 クラス

エントリー台数の上限は予選1組の最多予選出走台数とする。

以下の優先順位で決定する。

- ①全日本選手権 JSB1000 クラス第3戦オートポリス大会(9/20)までのポイント取得者
- ②前年度当該クラスチャンピオン
- ③主催者またはロードレース委員会推薦

④全日本選手権 JSB1000 クラス年間参戦者

□ ST1000、ST600、J-GP3 クラス

エントリー台数の上限は予選1組の最多予選出走台数とする。

以下の優先順位で決定する。

- ① 全日本選手権当該クラスで第3戦オートポリス大会までのポイント取得者
- ②主催者またはロードレース委員会推薦
- ③SUGO、筑波、鈴鹿、岡山国際、九州選手権の地方選手権当該インタークラスの最上位1名、もてぎ選手権当該インタークラスの上位3名（順位の繰り上げは行わない）
時期は、9月20日時点のランキングをもとにする。
- ④全日本選手権 当該クラス年間参戦者

以上